ななじゅうはちページ

第3章。その他の災害が起こったら

いち。 火山災害

区では、富士さんが噴火した場合ににセンチからじゅっセンチ程度の降灰のおそれがあり、停電が発生したり、道路の通行や交通機関の運行に影響が出たりします。大量の火山灰を吸引すると、呼吸器系に影響を及ぼす等、健康被害につながります。

降灰への対応

屋内にいるとき

降灰中は屋内にとどまる

窓やドアを閉め、外気の侵入を最小限に抑える

換気せんや換気機能のあるエアコンの換気運転をとめる

屋外にいるとき

マスクやハンカチ、衣服で鼻と口をおおう

建物や車等、避難できる場所を探す

降灰中に外出

テレビ等で降灰に関する情報を確認する

マスクや傘を持っていく

コンタクトレンズをはずし、めがねやゴーグルを着用する

灰が皮膚に触れないよう、長袖・ナガズボン、手袋等を着用する

車の運転は控える

火山灰の除去

清掃するときは、ゴーグルやマスクを着けて行う

水や雨で固まってしまうので素早く掃除する

下水に流すと詰まるので、灰をポリ袋に詰めて捨てる

ななじゅうきゅうページ

に。雷・竜巻

雷や竜巻は短時間で大きな被害をもたらします。雷注意報、竜巻注意情報等の気象情報や空の様子にも注意しましょう。

安全の確保

雷への対応

頑丈な建物や車のなか等の、安全な場所に避難する

ひらけた場所にいる場合は、電柱や高い木の近くから離れる

なるべく姿勢を低くし、持ち物はからだより高くならないよう気をつける

竜巻への対応

頑丈な建物の窓のない部屋等で、身を守る

雨戸、窓やカーテンを閉め、窓から離れる

プレハブ等の仮設建築物、太い樹木等も倒壊したり、とばされてしまうおそれがあるので離れる

さん。複合災害

同じ種類、あるいは異なる種類の災害が、同時または時間差で発生することがあります。被害が大きくなったり、広域化・長期化したりする可能性があります。例えば、地震発生時にふうすいがい、火山噴火、感染症拡大が想定されます。また、感染拡大は避難生活中に発生が想定され、避難者間で集団感染が発生して被害が拡大する可能性があります。